

直近の家庭用牛乳乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ：次回発信日は9月8日月報(予定)

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「～家庭内消費は前週よりも更に減少～ 飲用最需要期の需給は異例の緩和状況。積極的な消費拡大を」

- ・8/22週の牛乳類の家庭内消費は、前週(8/15週)よりも販売個数は微減、減少率は拡大した。販売個数の減少のほか、前年同週の気温が高く、前年は販売個数が増加した反動が減少率拡大の要因と考えられる。8/22週は全国的に気温は平年並み～僅かに高く、降水量は少ない地域が多かったが、消費に影響を与えるまでにはなっていない。
- ・ヨーグルト類については、ドリンクタイプは前年並み、個食、大容量タイプは前年を下回っており、減少率も拡大した。全品目総じて販売個数は前週より微減となっている。
- ・9/1公表の向こう1ヶ月の気温予測では前週に引き続き平年より暑くなる予報となっており、飲用需要の増加が期待される一方で、飲用最需要期を迎えた9月上旬の需給は、需要の低迷と東日本を中心とした生乳生産量の回復を背景に異例の緩和状況となっている。また、現在日本列島の南にある非常に勢力の強い台風は、週末にかけて北上すると予測されており、牛乳・乳製品需要のさらなる減退や広域生乳輸送への影響が懸念される。
- ・台風等の動向をにらみつつ、引き続き前広に生乳供給体制を確認することで現状の飲用需要に対しては安定的な供給を図るとともに、需給状況の改善のためには低迷している家庭用を中心に積極的な消費拡大が極めて重要である。

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(8/22週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同85.8%、成分調整牛乳：同92.2%、加工乳：同92.5%、乳飲料：同94.6%。

牛乳類トータルでは同95.3%

※参考：2020年度比は、牛乳：93.5%、成分調整牛乳：92.1%、加工乳：93.0%、乳飲料：84.6%(牛乳類トータル：95.3%)

※参考：2019年度比(コロナ禍前)の牛乳販売個数は101.1%。

・販売単価は、牛乳：190.3円、成分調整牛乳：175.0円、加工乳：190.1円、乳飲料：149.7円。

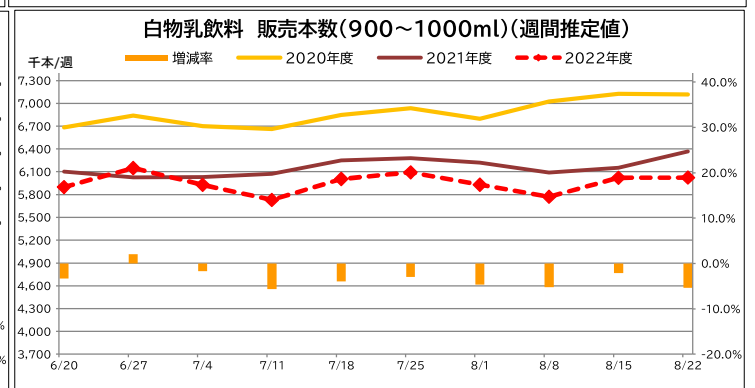
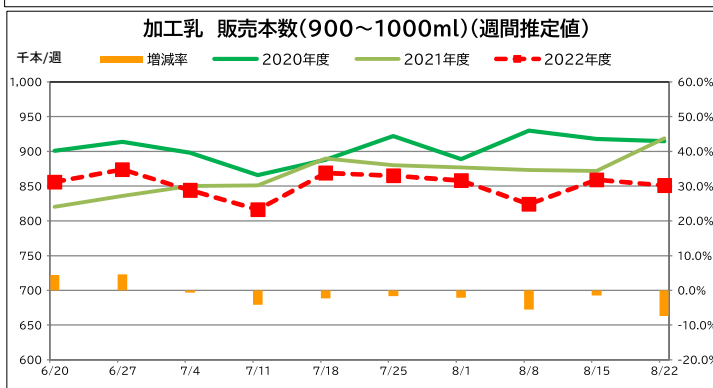
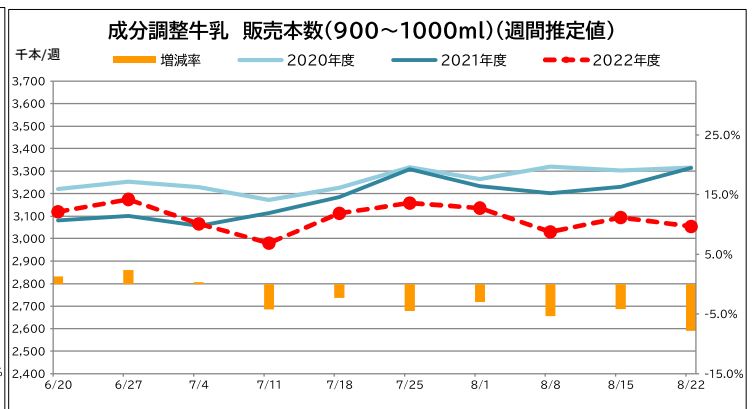
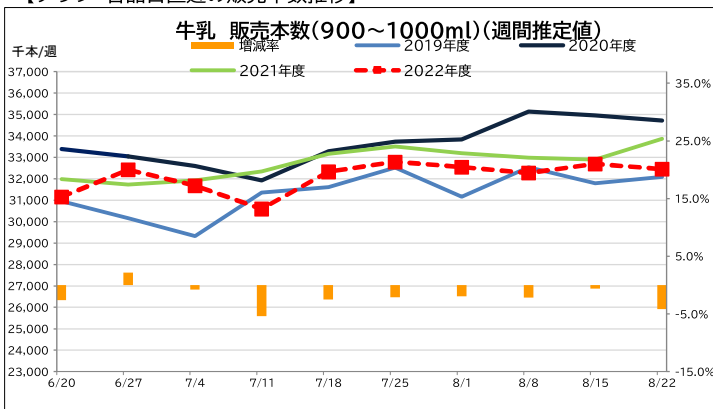
※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位：千個、円)

品目	区分	7.4-	7.11-	7.18-	7.25-	8.1-	8.8-	8.15-	8.22-
トータル	販売個数	41,519	40,121	42,317	42,911	42,471	41,902	42,674	42,379
	販売個数前年比	99.2	94.7	97.3	97.6	97.6	97.1	98.9	95.3
	販売単価	182.9	183.0	183.0	183.1	183.8	184.2	183.5	183.4
牛乳	販売個数	31,683	30,594	32,332	32,795	32,546	32,274	32,700	32,450
	販売個数前年比	99.2	94.6	97.5	97.9	98.0	97.9	99.4	95.8
	販売単価	189.7	190.0	189.8	190.0	190.6	190.9	190.4	190.3
成分調整牛乳	販売個数	3,066	2,980	3,112	3,158	3,136	3,030	3,094	3,054
	販売個数前年比	100.3	95.7	97.7	95.5	97.0	94.6	95.8	92.2
	販売単価	174.4	173.7	174.2	174.5	174.3	175.1	174.6	175.0
加工乳	販売個数	844	816	869	865	858	824	859	851
	販売個数前年比	99.3	95.9	97.6	98.3	97.9	94.5	98.5	92.5
	販売単価	190.4	190.2	190.5	190.4	190.2	191.2	191.2	190.1
乳飲料	販売個数	5,927	5,730	6,004	6,093	5,931	5,773	6,021	6,025
	販売個数前年比	98.3	94.4	96.0	97.0	95.4	94.8	97.9	94.6
	販売単価	149.6	149.6	149.5	149.6	150.1	150.1	149.6	149.7

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(8/22週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比100%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)ドリンクタイプは前年並み、個食タイプ、大容量タイプは前年を下回った。全品目通じて販売個数は前週よりも減少した。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

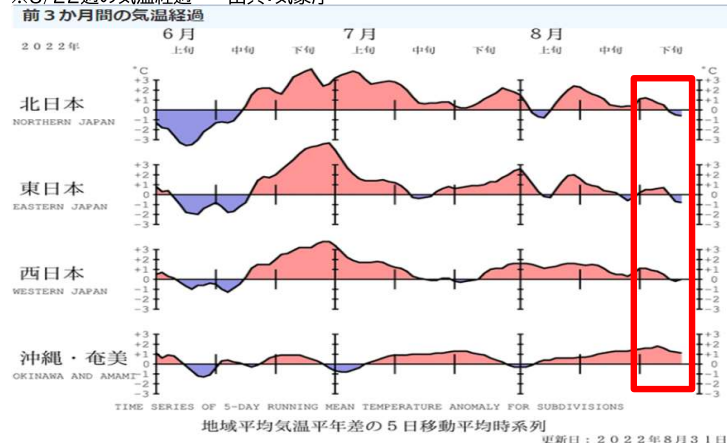
品目	7.4-	7.11-	7.18-	7.25-	8.1-	8.8-	8.15-	8.22-
ドリンクタイプ	↘	↘	↗	→	→	→	→	→
個食タイプ	↘	↘	→	↘	→	↘	↘	↘
大容量タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘

	: 前年比90%未満		: 前年比105%以上110%未満
	: 前年比90%以上100%未満		: 前年比110%以上120%未満
	: 前年比100%以上105%未満		: 前年比120%以上

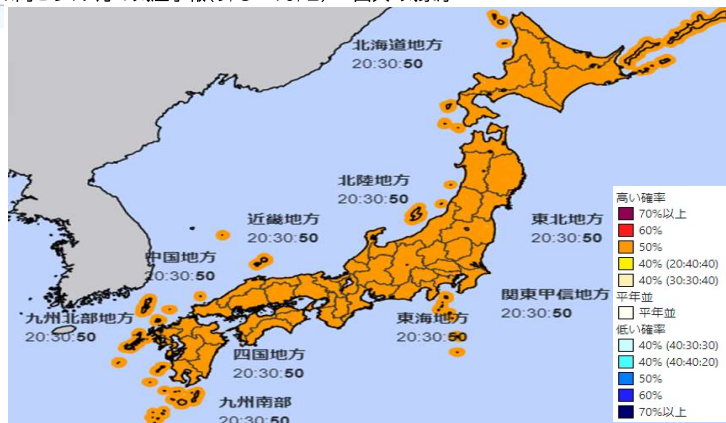
※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

●参考

※8/22週の気温経過 出典:気象庁



※こう1ヶ月の気温予報(9/3~10/2) 出典:気象庁



※「2022年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」